

2. 経営学部で学ぶ皆さんへ

この大学要覧（シラバス）は経営学部の1年生から4年生までの皆さんが読むことになります。1年生の皆さんは大学に入学して間もないので、これからどのような科目を学修していったら良いか戸惑っている人も多いかと思います。経営学部では、新入生の皆さんのために「経営学部生のための学習ガイド」という冊子を作成し、大学のWebページで公開しています。その冊子には経営学部での学びについてやさしく丁寧に書いてありますので、まずは、それを読んでみましょう。また、2年生以降の皆さんは経営学部のカリキュラムや単位取得の方法などは既に経験済みで、より専門的な学修に進むことになります。さらに、4年生の皆さんは社会に出ていくための準備も必要となってきます。



経営学部長

根 市 一 志

経営学部では、経営学という学問を体系的に学ぶことができるように、経営学を4つの領域（マネジメント、マーケティング、ファイナンス、アカウンティング）に大別した標準履修モデルを皆さんに提示しています。この履修モデルを参照することによって、多くの科目の中から自分の好みの科目を効率的に選択できます。また、さまざまな授業で修得した知識はそれを利用してはじめて次の発展へと繋がります。知識を修得しただけでは、まだ途中の段階であって、知識をその先に活かせるかが重要になってきます。そこで、経営学部では、経営学の理論を活かせる特色ある実践的な科目も多く用意しています。例えば、「経営学実習」、「ビジネス・ケース実習」、「おもてなしの経営学」、「七十七銀行提供講座」、「戦略マネジメントゲーム」、「3年、4年次の演習」などがあります。ぜひ、学んだ理論をこれらの科目で実践してみてください。

このように、経営学部では、経営学に関する専門的な科目や皆さんが社会に出て活躍するための科目が多数用意され、理論と実践がバランスよく配置されたカリキュラムになっています。そこで、皆さんの学修を効率的にサポートするのがシラバスになります。シラバスには、学ぶ目的、講義の概要、講義計画などが詳しく書いてあります。各講義の計画は1つのストーリーのように書いてありますので、それをきちんと読むことで、この講義で何を学修することができるのかがわかります。履修登録の前にシラバスをきちんと読みましょう。

経営学部での多くの授業を体系的に履修すると、それらの科目の単位を取得することができます。私たち教員は、皆さんが社会人になったとき、「大学できちんと勉強してきた」という証を社会に対して保証する教育を行う責任があります。また、専門知識を修得し、それを活用することによって社会の発展に寄与する人材を育成しなければなりません。特に、経営学部では、将来、ビジネスの場で活躍するための人材育成を目指しています。そこで、大学で単位を取得したことではなく、どのような評価で単位を取得したかが重要になります。その評価はGPA（GPAとは、Grade Point Averageの略で、授業ごとに成績を5段階に分けて、段階ごとにGrade Pointと呼ばれるポイントを付与した単位当たりの平均という数値です）という数値によって目に見える形で評価されます。GPAを意識した単位修得を目指しましょう。

現代社会は多様な価値観が求められます。それに対処できるのは「良い」を追求し続ける経営ではないでしょうか。経営学には科学的な考え方も導入されています。もはや、「経営学≠文系の学問」になっています。皆さんにとっては、ある意味、パラダイムシフトであるかもしれませんが、固定観念に捕らわれた偏った考え方になるのではなく、自分で、いろいろな状況に対処できるように、また、自分の考えで行動できるように、経営学部の特色あるさまざまな科目を楽しんでください。